# ■2023年度 事業報告

#### I. 2023年度 日本イベント産業振興協会(JACE)を取り巻く概況

2023年5月、数年に渡って世界中を苦しめ続けてきた新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、ようやくかつての日常が戻ってきた。飲食や娯楽などのサービス消費が回復し、外国人旅行者も急速に戻り、10月にはコロナ前の水準を上回った。円安の影響もありインバウンド消費の回復も著しい。また、中止が続いていた花火大会などのイベントも各地で再開され始めた。それらの結果、日本の実質 GDP 成長率は101.9%で、物価高などあったもののプラス成長となった。

イベントを取り巻く世界に目を転じると、電通発表の 2023 年 1 月~12 月の日本の広告費は過去最高の 7 兆 3,167 億円(前年比 103.0%)となり前年に引き続き過去最高を更新した。特にインターネット広告費は、コネクテッド TV の利用拡大に伴う動画広告需要の高まり等により、3 兆 3,330 億円(前年比 107.8%)と過去最高値となり、引き続き総広告費の伸びに大きく寄与している。

JACE の調査研究活動である「イベント産業規模推計」において、2023 年のイベント産業は、コロナが終焉を迎えた中、イベント関連産業(広告・制作会社、イベント専業企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業などイベントを売上げの一部としている業種・業態)の産業規模は 9,142 億円(前年比 135.3%)、さらにイベント周辺産業(音楽コンサート、演芸・スポーツ興行など 娯楽・エンタメ産業)までも含めた規模も 2 兆 6,337 億円(前年比 126.6%)と大きく伸長し、コロナ前の 2019 年と比較してもイベント関連産業で 95.3%、全体で 100.8%と、ほぼ同じ水準まで回復した。

また、イベントカテゴリー毎の来場者の消費額を調査している「イベント消費規模推計」においても、イベントの全体消費規模金額は16兆8,983億円(前年比113.5%)と前年を上回り、2019年と比べても96.6%とほぼコロナ前の水準にまで回復した。カテゴリー別では、消費規模の大きい順に、興行イベント6兆6,753億円(前年比116.4%)、文化イベント2兆5,976億円(前年比116.9%)、フェスティバル2兆3,164億円(前年比130.3%)、スポーツイベント2兆2,872億円(前年比106.8%)、会議イベント1兆4,935億円(前年比96.5%)、見本市・展示会8,798億円(前年比119.3%)、販促イベント6,139億円(前年比105.9%)となっており、博覧会と会議イベント以外は全て前年を上回った。前年越えの中で、販促イベント、興行イベント、文化イベントにおいては、2019年の数字をも上回る結果となった。

一回のイベントに対する来場者消費額は、26,886円(前年比102.1%)と微増に留まった一方、オンラインイベントでの支出額は3,369円(前年比62.2%)と引き続き減少した。

リアルイベントの参加割合は、例年通りフェスティバルが最多で、興行イベント、文化イベントが これに続く。オンラインイベントの参加割合は、会議イベントが最多で、興行イベントが続いている が、コロナ禍の収束でリアルイベントが復調したことに伴い、フェスティバル以外すべての項目で昨 年の数値を下回った。参加回数を見ると、リアル、オンラインとも、興行イベントが昨年より増えて いる。 イベントに対する意識については、昨今のインバウンド増加に伴い、「イベントで外国人をよく見る」がスコアを伸ばした。また「イベントは震災復興に役立つ手段のひとつである」もやや増えた。 オンラインイベントのイメージについては、「移動時間が節約できる」「交通費や宿泊費が節約できる」が半数以上、これに「今まで行けなかったイベントにも参加できる」が4割台で続く。一方で、「リアルに比べて臨場感が足りない」とする声も3割超存在する。また昨年と比較すると「感染症などにかかるリスクがないので安心」のスコアが大きく減少している。リアルイベントが復活したことで、オンラインイベントに対しての意識も変化していることが窺える。

イベント業界は完全復活を遂げたと言っても過言ではないが、コロナ渦の中で業界を離れた人材も多く、働き方改革が進んで一人当たりの労働時間も減り、また休日勤務・深夜作業を嫌った若者の離職率も低くないなど、人手不足が深刻な問題となりつつある。一方で、今年のパリオリンピック・パラリンピック、そして来年は「2025 年大阪・関西万博」、「東京 2025 世界陸上大会」等と、大型イベントも目白押しで、好材料も数多くある。

JACE は引き続き業界のサステナビリティ化を推進するとともに、積極的に人材育成・交流を行い、 会員社間のみでなく、イベント業界全体との繋がりを大切にし、また若手の育成に注力することで、 彼らが 10 年後 20 年後のイベント業界の中枢を担う存在になること、ひいては未来の子どもたちの憧 れの職業になることを目指し、今後も活動を継続していく。

#### Ⅱ. 2023年度事業活動報告

#### 2-1 総会及び理事会

#### 2-1-1 総会

総会は、定款第20条の規程にもとづき石井直代表理事が社員全員に対して社員総会の目的である事項について提案書兼報告書を発し、全会員社から書面による同意の意思表示を得て以下の通り開催し、当該議案の決議が成立した。

#### ●第19回定時総会

日 時 2023年6月16日(金)

場 所 虎ノ門ヒルズ森タワー5階 虎の門ヒルズフォーラムホールA

構成員現在数 64名、出席構成員数 64名(内委任状による代理人出席 9名、議長委任 24名)

#### 【 議題および報告事項 】

議題1.2022年度決算報告書承認の件《第1号議案》

議題2.理事・監事選任(案)承認の件《第2号議案》

#### ●第20回臨時総会

日 時 2023年9月26日(火)

実施形態 電磁的方法 (メール) による報告資料の提出

#### 【議題および報告事項】

議題1. 理事1名選任の件

#### 2-1-2 理事会

業務執行理事より詳細な業務報告および議案の審議等を行った。

#### ●第50回理事会(書面決議)

日 時 2023年5月25日(木)

実施形態 電磁的方法 (メール) による報告資料の提出

#### 【議題および報告事項】

議題1.2022年度 決算諸表 承認の件≪第1号議案≫

議題2. 新規入会正会員承認の件≪第2号議案≫

#### ●第51回理事会

日 時 2023年6月16日(金)

場 所 虎ノ門ヒルズ森タワー5階 虎の門ヒルズフォーラムホールA

参加人数 理事出席数23名《理事の現在数24名》監事総数2名のうち出席2名

#### 【議題および報告事項】

議題1. 代表理事ならびに役職理事等選定の件

#### ●第52回理事会

日 時 2023年7月14日(金)

実施形態 電磁的方法 (メール) による報告資料の提出

#### 【議題および報告事項】

議題1. 新規入会正会員承認の件

#### ●第53回理事会

日 時 2023年10月19日(木)

場 所 ホテルグランドアークホテル半蔵門 3 F「光の間」

参加人数 理事出席数18名《理事の現在数24名》監事総数2名のうち出席2名

#### 【議題および報告事項】

議題 1. 2023 年度 上期業務執行状況と今後の活動について

議題 2. 今後の主なスケジュール

#### 議題 3. 賛助会員新規入会 承認の件 ≪第1号議案≫

#### ●第54回理事会

日 時 2024年1月29日(月)

場 所 第一ホテル東京 21 F「ルミエール」

参加人数 理事出席数23名《理事の現在数24名》監事総数2名のうち出席1名

#### 【議題および報告事項】

議題1.2023年度下期業務執行状況と今後の活動について

議題2. 今後の主なスケジュール

議題 3. 正会員新規入会 承認の件 ≪第1号議案≫

#### ●第55回理事会

日 時 2024年3月21日(木)

場 所 ホテルグランドアークホテル半蔵門 3 F 「光の間 |

参加人数 理事出席数19名《理事の現在数24名》監事総数2名のうち出席2名

#### 【議題および報告事項】

議題1. 2023 年度第4四半期の事業・運営について

議題2. 2023年度決算見込みについて

議題3. 今後の主なスケジュール

議題4. 2024年度事業計画・収支予算(案)承認の件≪第1号議案≫

議題5. 賛助会員新規入会 承認の件 ≪第2号議案≫

議題6.2024年度「第21回定時総会 | 開催 承認の件≪第3号議案≫

#### 2-2 会員事業及び協会運営

#### 2-2-1 会員事業

今年度も正会員法人からの出向者を中心とした運営体制を継続し、正会員の参画による委員会・部会の活動はオンライン化も含めて実施した。

また、新規会員社を増やすために、ひきつづき加入依頼のアプローチを実施。

正会員69法人(9法人増、1法人減)、準会員1法人、(1法人増)、賛助会員23法人(1法人増)。計92法人に増加。

#### 【新規正会員9法人(2024年3月31日現在)】

(株)ジャプロ、エントロス(株)、(株)エクシードコネクト、(株)ノムラメディアス

㈱ヴァリアス・ディメンションズ、㈱グローバルプロデュース、

㈱インター・ビジネス・ネットワークス、㈱レスポン、㈱ジャパングレーライン

## 【新規準会員1法人(2024年3月31日現在)】

(株)キャップ

# 【新規賛助会員 1 法人(2024 年 3 月 31 日現在)】 (学札幌大学

#### 2-2-2 協会運営(正会員社の参画による委員会等の活動)

#### ① 総務委員会

役 割	氏 名	会員社名	部署名/役職名(2023 年 4 月 1 日時点)
委員長	舛森 丈人	㈱テー・オー・ダブリュー	取締役 兼 執行役員 管理本部長
副委員長	田口 政幸	㈱ムラヤマ	スペースプロモーショングループ 執行役員
委 員	田所 義教	㈱ADK クリエイティブ・ワン	総合プロデュース第3センター センター長
委 員	佐々木淳	㈱ジェイアール東日本企画	企画制作本部 エクスペリエンシャル・プロ モーション局 次長
委 員	齋藤 友輔	㈱JTB	ビジネスソリューション事業本部 事業推進チーム 事業推進担当部長
委 員	松田 英彦	㈱セレスポ	取締役 事業本部副本部長 事業支援部部長
委 員	渡里 大介	大日本印刷梯	情報イノベーション事業部 DX センター ハイブリッドマーケティング本部 本部長
委 員	稲場 幸家	梯丹青社	コミュニケーションスペース事業部 副事業 部長
委 員	石阪 太郎	㈱電通ライブ	執行役員
委 員	髙橋 武久	㈱東急エージェンシー	マーケティング DX 本部 アクティベーショ ンデザイン局 局長
委 員	佐藤 秀樹	㈱乃村工藝社	営業推進本部 第二事業部 事業部長
委 員	藤本 真理子	㈱博報堂	MDX 戦略局アセットマネジメント部 部長
委 員	長田 芳曉	㈱博報堂プロダクツ	執行役員 イベント・スペースプロモーショ ン事業本部 本部長
委 員	塩川 学	㈱マッシュ	執行役員

\* JACE 事務局担当:千種、尼子

協会の運営を円滑に進行する実施機関として5回開催

- ●第1回 2023年 5月16日(火)【リアル】
- ●第2回 2023年 6月 8日 (木) 【オンライン併用】
- ●第3回 2023年10月12日(木)【オンライン併用】
- ●第4回 2024年 1月22日(月)【オンライン併用】

- ●第5回 2024年 3月14日(木)【リアル】
- □ 活動状況 1. 理事会開催前に事務局活動報告を確認、意見交換
  - 2. 新規会員社獲得プロジェクトの推進
  - 3. 委員交代時 新メンバー紹介等

#### ② 人材育成委員会

			·
役割	氏 名	会社名	部署名/役職名(2023年4月1日時点)
委員長	長田 芳曉	㈱博報堂プロダクツ	執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
副委員長	小坂井 彰	五大陸㈱	代表取締役
委 員	間藤 芳樹	㈱マッシュ	代表取締役
委 員	内山 早苗	㈱UD ジャパン	代表取締役
委 員	内宮 真一	(株)スポーツマネージメント	代表取締役
委 員	酒井 基喜	㈱マッシュ	
委 員	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長兼広報室長
委 員	綿木 啓了	㈱ディー・エヌ・エー	プロジェクトマネージャー
委 員	磯部 陽一	㈱レイ	コミュニケーションデザイン事業本部本部長

\* JACE 事務局担当:石山、田邊

資格・検定制度の価値向上および運営を円滑に進行するため、 7 回開催

- ●第1回 2023年5月24日(水)【オンライン】
- ●第2回 2023年6月21日(水)【オンライン】
- ●第3回 2023年7月19日(水)【オンライン】
- ●第4回 2023年9月27日(水)【オンライン】
- ●第5回 2023年12月6日(水)【オンライン】
- ●第6回 2024年1月17日(水)【オンライン】
- ●第7回 2024年3月7日(木)【リアル】

#### ※その他分科会多数開催

- □ 活動状況 1. 資格者増と賛助校拡大施策
  - 2. 資格価値向上に向けた企画、実施
  - 3. イベント業務管理士公式テキスト全面改訂作
  - 4. 2023 年度試験運営・試験対策セミナー企画・運営・動画制作
  - 5. 試験問題編成、作成
  - 6. 業務管理士1級試験作成、採点、合否判定
  - 7. 認定校内試験運営、合否判定
  - 8.1級合格者お祝いの会企画・実施

# ③ アワード部会

役割	氏 名	会社名	部署名/役職名(2023年4月1日時点)
部会長	石阪 太郎	(株)電通ライブ	執行役員
アドバイザー	宮本 倫明	株)Landa	代表取締役
メンバー	田所 義教	(株)ADK クリエイティブ・ワン	総合プロデュース第3センター センター長
メンバー	佐々木淳	㈱ジェイアール東日本企画	企画制作本部 エクスペリエンシャル・ プロモーション局 次長
メンバー	齋藤 友輔	㈱JTB	ビジネスソリューション事業本部 事業推進チーム 事業推進担当部長
メンバー	原田 伸介	㈱新東通信	クリエイティブ本部 JPM 事業グループ グループ長
メンバー	松田 英彦	㈱セレスポ	取締役 事業本部副本部長 事業支援部部長
メンバー	越川 延明	㈱セレスポ	執行役員総務部長広報室長
メンバー	渡里 大介	大日本印刷(株)	情報イノベーション事業部 DX センター ハイブリッドマーケティング本部 本部長
メンバー	稲場 幸家	梯丹青社	コミュニケーションスペース事業部 副事業 部長
メンバー	舛森 丈人	㈱テー・オー・ダブリュー	取締役 兼 執行役員 管理本部長
メンバー	髙橋 武久	㈱東急エージェンシー	マーケティング DX 本部 アクティベーショ ンデザイン局 局長
メンバー	代友昭	凸版印刷(株)	情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルイノベーションセンター 企画開発本部 第二部 部長
メンバー	小坂井 彰	日本イベント業務管理士 協会(JEDIS)	副会長
メンバー	佐藤 秀樹	㈱乃村工藝社	営業推進本部 第二事業部 事業部長
メンバー	藤本 真理子	㈱博報堂	MDX 戦略局アセットマネジメント部 部長
メンバー	長田 芳曉	㈱博報堂プロダクツ	執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
メンバー	間藤 寛太	㈱マッシュ	コミュニケーションデザイン室長
メンバー	田口 政幸	㈱ムラヤマ	スペースプロモーショングループ 執行役員
メンバー	内山 早苗	㈱UD ジャパン	代表取締役

\*JACE 事務局担当:尼子、沖

イベントアワード運営を円滑に進行するため、WGを含め3回開催

- ●第1回 2023年8月30日(水)【オンライン】
- ●第2回 2024年3月25日(月)【一次選考会】

【ワーキンググループ】

●第1回 2023年9月26日(火)【オンライン】

- □ 活動状況 ・作品応募のお願い
  - ・選考委員の見直しについて
  - ・選考方法の見直しについて
  - ・PR 施策について

# ④ サステナビリティ委員会

役割	氏 名	会社名	部署名/役職名(2023年4月1日時点)
委員長	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長兼広報室長
副委員長	羽山 寛幸	㈱昭栄美術	専務取締役
副委員長	松本 秀之	(株)フロンティア インターナショナル	第3営業本部 本部長
委 員	板山 智昭	コーユーレンティア(株)	イベント営業部 係長
委 員	宮口真	㈱電通	CX プランニング・センター ライフエクスペリエンスデザイン部長
委 員	松原 努	日本コンベンション サービス(株)	営業・マーケティング戦略部 グローバル・ゴール推進リーダー
委員	森下慎一	㈱東急エージェンシー	マーケティング DX 本部 アクティベーションデザイン部 第 1 アクティベーション部 部長 プランニングディレクター
委 員	生形 善彦	凸版印刷铁	情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルイノベーションセンター 企画開発本部 2 部 2 チーム
委 員	菅谷 遼	㈱乃村工藝社	ビジネスプロデュース本部 未来創造研究所 ソーシャルグッド R&D ユニット サステナブルデザインユニット リーダー
委 員	福傳弘二	TSP 太陽㈱	事業統括本部 技術本部 施工監理部 副部長
委 員	白川 陽一	㈱博展	サステナブル・ブランド事業部長 兼 サステナビリティ推進部長
委 員	石毛 照栄	(株) J T B コミュニケー ションデザイン	総合企画部 サステナビリティ推進局 リーダー
委 員	大高 良和	㈱電通ライブ	ソリューションユニット スペースデザインファクトリー リード スペースソリューション部長

\* JACE 事務局担当:尼子、千種、中島

イベント業界のサステナビリティ化推進のため5回開催

- ●第1回 2023年5月22日(月)【リアル】
- ●第2回 2023年7月24日(月)【リアル】
- ●第3回 2023年9月25日(月)【リアル】

- ●第4回 2023年12月4日(月)【リアル】
- ●第5回 2024年2月19日(月)【リアル】
- □ 活動状況 1. 取り組む視点、活動の方向性、具体的な活動案について検討
  - 2. 会員社向けアンケート調査の企画・実施・考察
  - 3. 会員社啓発目的のウェビナーを企画・実施
  - 4.「使い勝手の良い」 サステナビリティ・ガイドライン策定への協力
  - 5. ISO20121 改訂作業への協力

#### ⑤ 交流部会

役割	氏 名	会社名	部署名/役職名(2023 年 4 月 1 日時点)
部会長	松崎 満	㈱小林工芸社	取締役 第1アカウント部 ダイレクター
メンバー	鶴間 敏治	(株)クラフティ	取締役 事業開発部 部長
メンバー	本間 澄江	㈱サピエント	執行役員
メンバー	永門 優作	㈱ジールアソシエイツ	取締役 営業推進本部 本部長
メンバー	丸山 尚人	㈱ディー・エヌ・エー	プロモーション3部 丸山ルーム ルーム長
メンバー	池本 竜	PRG㈱	営業部 ディレクター/部長
メンバー	木白 豊	㈱レンタルのニッケン	営業企画部 イベントチーム チームリーダー
メンバー	中原 康哉	㈱ワールドカラー	取締役 事業統括本部

\*IACE 事務局担当:千種、尼子

JACE 会員間のコミュニケーションの活性化、入会メリットの具現化のため、4回開催

- ●第1回 2023年4月6日(木)【リアル】
- ●第2回 2023年5月15日(月)【オンライン】
- ●第3回 2023年7月27日(木)【リアル】
- ●第4回 2024年2月21日(水)【リアル】

※その他分科会多数開催

- □ 活動状況 1.「若手交流会」の企画・実施
  - 2. 「ビジネスマッチング商談会」の企画・実施
  - 3. 他団体合同交流会への参加

#### 2-3 人材育成事業

オンライン試験(CBT 方式)変更による受験機会の拡大によって、受験者増を実現した。

- 2-3-1 資格事業 イベント業務管理士 1級・2級
  - ① イベント業務管理士1級試験

2 級登録者を対象とした 1 級試験は、2024 年 1 月 20,21,26,27,28 日の 5 日間実施した。受験者数は 60 名(前年比 118%)、合格者は 13 名(前年比 68%、合格率 22%)であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2021 年	85	62	73%
2022 年	51	19	37%
2023 年	60	13	22%

#### ② イベント業務管理士2級試験

例年どおり、7月と11月の2回実施した。前期試験は2023年7月1~31日、後期試験は2023年11月1~30日に実施した。受験者数は280名(前年比126%)、合格者は180名 (前年比120%、合格率64%)であった。昨年を大きく上回る受験者数となった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2021 年	213	180	85%
2022 年	222	150	68%
2023 年	280	180	64%

#### ③ イベント業務管理士1級・2級新規登録・資格更新

#### 新規登録

今年度の新規登録対象者は、1級13名、2級180名、合計193名で、それぞれ13名(登録率100%)、176名(登録率98%)の合計189名が登録した。

※登録料は、1級13,000円、2級10,000円

年度	1級新規登録者数	登録率	2級新規登録者数	登録率
2021 年	60	97%	174	97%
2022 年	43	98%	144	95%
2023 年	13	100%	176	98%

#### 資格更新

イベント業務管理士は、3年ごとに更新手続きを実施している。

今年度の1級資格更新対象者は513名で、417名(更新率81%)が更新手続きを行った。 2級資格更新対象者は345名で、181名(更新率52%)が更新手続きを行った。

※登録更新料は、1級13,000円、2級10,000円

年度	1級更新者数	更新率	2級更新者数	更新率
2021 年	422	105%	84	38%
2022 年	521	84%	168	63%
2023 年	417	81%	181	52%

#### 2-3-2 検定事業

イベント・スポーツイベント・ユニバーサルイベントの3検定は、例年どおり、7月と11月 に2回実施した。前期試験は2023年7月1~31日、後期試験は2023年11月1~30日。

#### ① イベント検定

一般会場受験 222 名 (前年比 99%)、賛助校は 25 校から 443 名 (前年比 97%)、合計 665 名 (前年比 97%) が受験し、445 名 (前年比 78%、合格率 67%) が合格した。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2021 年	629	526	84%
2022 年	683	567	83%
2023 年	665	445	67%

#### ② スポーツイベント検定

一般会場受験 69 名 (前年比 119%)、賛助校は 11 校から 152 名 (前年比 78%)、合計 221 名 (前年比 87%) が受験し、139 名 (前年比 129%、合格率 63%)が合格した。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2021 年	216	111	51%
2022 年	253	108	43%
2023 年	221	139	63%

#### ③ ユニバーサルイベント検定

45 名(前年比 118%)が受験し、38 名(前年比 112%、合格率 84%)が合格した。

			. ,
年度	受験者数	合格者数	合格率
2021 年	34	30	88%
2022 年	38	34	89%
2023 年	45	38	84%

#### 2-3-3 教育(セミナー)事業

試験対策セミナー受講者数は、「イベント業務管理士1級」は39名(前年比100%)、「イベント業務管理士2級」は56名(前年比104%)、「イベント検定」51名(前年比86%)、「スポーツイベント検定」23名(前年比110%)、「ユニバーサルイベント検定」12名(前年比60%)。

※受講料は、1級・2級各25.000円(会員22.500円)、3検定各7.000円(会員6.300円)

Marian					
年度	イベント業務	イベント業務	イベント	スポーツ	ユニバーサル
	管理士1級	管理士2級	検定	イベント検定	イベント検定
2021 年	74	62	62	12	13
2022 年	39	54	59	21	20
2023 年	39	56	51	23	12

#### 2-3-4 その他施策

- ① 「TEAM EXPO 2025・共創チャレンジ」の一環として動画コンテンツ制作 ユニバーサルイベントへの啓発活動および、今年4月1日に施行された「障害者差別解消 法」改定への対応を目的に、株式会社 UD ジャパンご協力のもとコンテンツ動画『誰もが取り 残されないイベントのための9つの配慮ポイント』を制作した。JACE のコーポレートサイト などで無料配信を行っている。
- ② 「2023 年度 JACE イベント資格・検定」の経済産業省後援事業認証 JACE の 4 つの資格・検定に対し、経済産業省後援事業として初めて認証された。2024 年度 以降も継続して使用申請を行う。
- ③ イベント資格・検定認知向上に向けた施策

全国の施設・協会・学校などからターゲットを絞り、全国の施設・会場関連 266 件、通信・専門学校 369 件、スポーツ協会関連 126 件、大学・短大関連 482 件の合計 1,243 件への DM 配布を実施した。効果検証も兼ねてイベント資格・検定の公式テキストプレゼントを実施。応募があった一部学校には直接出向き、クレデンシャルおよび資格の優位性などについてヒアリングを行った。この施策によって新規賛助会員 1 校(札幌大学)を獲得した。

④ 「2022 年度イベント業務管理士 1 級合格者お祝いの会」実施 7月 21日(金)、HASSO CAFFE with PRONTO (神保町)にて、 2022 年度イベント業務管理士 1 級合格者のフォローアップ施策の一環として初めて開催した。資格者の先輩となる JEDIS メンバーにご参加をいただき、交流を深めた。また、「誰ひとり取り残さないイベントを!」と題し、UD ジャパン・内山会長の特別講演を行った。

#### 2-4 調査研究事業

#### 2-4-1 イベント産業規模推計

2023 年 6 月に発表した、2022 年のイベント関連産業(※ 1)の産業規模は 6,758 億円 (前年比 121.0%)。イベント周辺産業(※ 2)まで含めた規模は 2 兆 804 億円(前年比 138.7%)となり、2019 年と比べてもそれぞれ 70.5%、77.7%と順調に回復している。特に 「スポーツ興行」は 2019 年対比 107.5%と完全に復調した。

- ※1 イベント関連産業 広告・制作会社、イベント専業企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業等、イベントを売上げの一部としている業種・業態
- ※2 イベント周辺産業 音楽コンサート、演芸・スポーツ興行団など娯楽・エンタメ産業等

### 2-4-2 イベント消費規模推計

2023 年 6 月に発表した、2022 年イベント消費規模推計において、イベント全体の消費規模金額は 14 兆 8,828 億円(前年比 132.7%)と前年を大きく上回った。一回のイベントに対する来場者消費額も、26.336 円(前年比 107.2%)とこちらも復調基調である。

オンラインイベントに関する意識については昨年と同様の傾向で、「移動時間が節約できる」、「交通費や宿泊費が節約できる」、「今まで行けなかったイベントにも参加できる」が TOP3、「リアルに比べて臨場感が足りない」といったネガティブな意見も多かった。

#### 2-5 普及啓発事業

#### 2-5-1 JACE イベントアワード

今年度の「第9回 JACE イベントアワード」(後援:経済産業省)より、イベント開催目的と開催主体の多様化に対応し、また規模の大小に関わらず受賞の機会を増やすため、イベント主催者の性格ごとに①企業・業界団体②政府・自治体・公共団体③学生・NPO・各種団体・個人の3部門に分類し、募集を行った。その結果、自薦は過去最多の96件、他薦の56件を合わせると合計152作品の応募となった。

また各部門で「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」賞を設定することで部門毎の順位付けを 明確にし、その上で最も優れたイベントに最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)を 選定、イベント業務管理士が選ぶイベントプロフェッショナル賞と併せて、6月16日に虎ノ門 ヒルズフォーラムメインホールにて表彰式を開催した。

#### <最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)>

Voice Watch supported by Toyota Mobility Foundation

#### <イベントプロフェッショナル賞>

・イベントのこれからを創る新たな枠組み!行政施設の広報課題を解決する 東山動植物園「地球のいのちに出会う森|プロジェクト

#### <企業・業界団体部門>

ゴールド賞 Voice Watch supported by Toyota Mobility Foundation

シルバー賞 ストレス買取センター

ブロンズ賞 LIMITS Asian Championship 2022

#### <政府・自治体・公的団体部門>

ゴールド賞 True Colors Festival THE CONCERT 2022

シルバー賞 行田花手水 week 及び希望の光

ブロンズ賞 イベントのこれからを創る新たな枠組み!行政施設の広報課題を解決する 東山動植物園「地球のいのちに出会う森」プロジェクト

<学生・NPO・各種団体・個人部門>

ゴールド賞 日本で初開催!「世界脳性まひの日~Warm Green Day~」

シルバー賞 神楽坂まち飛びフェスタ 2022 「坂にお絵描き/坂にお絵貼り」

ブロンズ賞 ティラノサウルスレース (大山) (in 有明浜)

特別賞 レッツゴー万博2025 カウントダウン3 夢洲超花火

「第 10 回 JACE イベントアワード」も主催者別に 3 部門で応募する仕組みを継続し、規模の 大小に拘わらず、どんなイベントでも応募しやすく、幅広いジャンルのイベントを対象とす る。

また昨今のトレンドに対応し、サステナビリティ、メタバース、ユニバーサルのスペシャリストを新たに選考委員に選定。よりアワードの価値向上を図りつつ PR 効果も期待。

- ・表彰式(於:虎ノ門ヒルズフォーラムメインホール): 2024年6月14日(金)
- 作品応募総数:191作品(自薦119作品、他薦72作品)

#### 2-5-2 サステナビリティ委員会

① 会員社へのサステナビリティに関するアンケート調査実施

昨年に引き続き、会員社向けアンケート(会員各社のサステナビリティへの取組についての 実態を把握するためのインターネット調査)を実施、正会員社 46 社から回答を頂き、経年で の変化も把握。

- ② サステナビリティ啓発ウェビナーを企画・実施
  - ・2024年2月8日(木)

「イベント業界におけるサステナビリティ実践と可能性」

講師:加藤 佑氏(ハーチ株式会社代表取締役)

登録者:235人

・2024年3月5日(火)

「誰もが自分らしく暮らせる社会づくり ~LGBTQ+ 性の多様性を知ろう~」

講師:松中 権氏(認定 NPO 法人グッド・エイジング・エールズ代表)

登録者:116人

#### 2-5-3 交流部会

#### ① ビジネスマッチング情報交換会実施

昨年度中に回収したプロフィールシートをもとに、オンラインシステム(zoom ブレイクアウトルーム)を利用し開催。正会員 11 社に参加いただき、1対1の商談機会を提供、後日リアルで会社訪問を実施されたとの報告を得ている。

〈プレゼン側〉近畿日本ツーリスト、サピエント、ジャプロ、ジールアソシエイツ 〈被プレゼン側〉エス・ティー・アール、JR 東日本企画、JTB、セレスポ、電通ライブ、 東急エージェンシー、ハウフルス

#### ② 若手交流会の開催

・4月21日(金) 第2回「JACE FUTURE LAB (JFL)」

「実際にeスポーツをやってみよう!」と題し、RED TOKYO TOWER にて開催。正会員社から21名参加いただき、最先端の「eスポーツ」施設を体験/懇親会場にてその可能性・活用方法等についてディスカッションを行った。

#### · 10月27日(金) 第3回「JACE FUTURE LAB (JFL)」

「Japan Mobility Show 2023」の視察を、JTB 様のご協力を頂いて実施し、後日、11 月 16日に「視察報告会」を開催した。

報告会では、電通ライブと博報堂プロダクツのブース担当者がプレゼンテーションを行った 後、JFLメンバーがグループごとに視察して得られた考察を披露し、意見交換を行った。引き 続き行われた懇親会では、若手同士及び交流部会メンバーとの親交を深めた。

#### · 2 0 2 4 年 2 月 1 4 日 (水) 第 4 回 「JACE FUTURE LAB (JFL)」

日本コンベンション協会(JCMA)、日本展示会協会、MPI Japan Chapter との合同開催「MICE4 団体合同交流会: Sports and MICE『HADO』合同イベント@お台場 HADO ARENA」に参加した。業界団体の垣根を越えた人脈形成、新しいビジネス機会の創出を目的に、JFL からは 4 チーム 12 名が参加し、e スポーツ「HADO」を数多くのギャラリーと共に楽しんだ後、200 名を超える懇親会で他団体の若者と積極的に交流を行った。JFL の 1 チームが、全 48 チーム(144 名)中、見事 3 位に入賞した。

#### 2-5-4 JACE 懇親ゴルフコンペ開催

7月20日(木)、懇親ゴルフコンペを開催。千葉県ロッテ皆吉台カントリークラブにて、 35名が参加。

#### 2-5-5 その他(賀詞交歓会等)

6月16日(金)に虎ノ門ヒルズフォーラムにて定時総会後の懇親パーティーを JACE イベントアワードの受賞パーティーと合わせて実施。また、2024年1月29日(月)に賀詞交歓会を昨年に引き続き第一ホテル東京にて実施した。両会とも経済産業省はじめ関係団体幹部各位の参加も得て盛大に会員相互の交流を促進した。

#### 2-5-6 他団体との交流活動

- ① 経済産業省との交流
  - ●イベント産業規模推計およびイベント消費規模推計の報告
    - ・6月15日(木) イベント産業規模推計報告書
    - ・7月10日(月) イベント消費規模推計報告書

商務情報政策局 商務サービスグループ クールジャパン政策課チームメンバーに対して、報告 書説明および意見交換を実施。

- ② イベント関連団体との交流
  - ●イベント学会
    - ・6月13日(火) 定時総会および理事会
    - ・2024年2月23日(金) 第26回特別研究大会 順天堂大学
  - ●展示会関連団体連絡会(経済産業省・JETRO・日本展示会協会・日本電機工業会)
    - ・4月13日(木) 「展示会業界における COVID 19 感染拡大予防ガイドラインレビュー」
    - ・6月23日(金) 「サステナブルイベントガイドラインについて」 電通ライブ:石阪執行役員、大高部長による講演
    - ・8月25日(金) 「ジェトロと万博」、シャープミュージアム(天理市)視察
    - ・11月17日(金) 「展示会現場の今」 講師/三菱電機グループ (㈱アイプラネット 「国際的な展示会等における保税制度の活用について」 講師/財務省 保税アドバイザー
    - ・12月22日(金) 「宇宙ビジネスをテーマとする新展示会『SPEXA』をモデルに 国際展示会を考える | 講師/RX ジャパン
    - ・2024年2月16日(金) 「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」結果概要報告 講師/一般社団法人日本自動車工業会 次世代モビリティ領域3部主幹 菅野 幸司 氏 報告/JACE 会員5社で構成されている「サステナブルイベント協 議会」メンバー(丹青社・電通ライブ・博報堂プロダクツ・乃村工 藝社・ムラヤマ)から「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」にブー ス出展した「Out of KidZania」の実施報告と今後の取組みについて 報告

- ③ 広告関係団体連絡会(JACE 含む 23 団体)との交流
  - ●広告関係団体連絡会
    - ・6月30日(金)
    - ・9月29日(金)
    - ・12月20日(水) 連絡会@JAA 会議室、懇親会@ホテルモントレ銀座
    - ・2024年1月5日(金) 広告界合同年賀会 @帝国ホテル
    - ・2024年3月12日(火)

#### ④ その他交流

●(公財)東京観光財団「令和 5 年度東京都M I C E 連携推進協議会」への参画

「東京都のMICE誘致に向けて関係主体の連携を促進」を目標とした官民一体の協議会に、昨年に引き続き津川専務理事が委員委嘱として参画。

(メンバー)観光庁、日本政府観光局(JNTO)、東京都、東京商工会議所、業界団体、大学など

#### 【MICE 連携推進協議会】

- ·第1回 7月26日(水)
- ·第2回 2024年3月5日(火)

#### 【サステナビリティ部会】

- ·第1回 9月6日(水)
- ・第2回 12月14日(木)
- ●東京都次世代型MICE推進協議会への参画
  - ·第1回 6月7日(水)
  - ・第2回 9月5日(火)
  - ·第3回 11月13日(月)
  - ・第4回 2024年2月15日(木)令和5年度ユニークベニューショーケースイベント視察@国技館/すみだ水族館
  - ·第5回 2024年3月8日(金)

「TOKYO MICE テクノロジー導入ガイドライン」更新版作成

早稲田大学:稲田教授、慶応大学:南澤教授 他

#### ●東京都 MICE シンポジウム

・2024年2月7日(水) @サントリーホール 『サステナビリティ × MICE ~次世代に向けた取組~』パネリスト:津川専務理事

#### ●(公財) 共用品推進機構

「新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会」。経済産業省の指導のもと、昨年度から3年間の有期でスタートした委員会で、津川専務理事が継続して委員委嘱として参画。2年目は「新たな日常生活でのアクセシビリティ規格」に関する提案用規格素案作成を行う。

経済産業省国際標準課、同省商務・サービスグループ ヘルスケア産業課、業界団体、大学など 2 6 団体が参加。

- ·第1回 7月6日(木)
- ·第2回 2024年1月25日(木)

#### ●(公財)人権教育啓発推進センター

法務省委託による「ハンセン病問題に関するシンポジウムに係る効果検証」に関する有識者 検討会。津川専務理事が委員委嘱として参画。

- ·第1回 2024年1月11日(木)
- ·第2回 2024年1月18日(木)
- ·第3回 2024年2月6日(火)
- ●一般財団法人札幌産業流通振興協会(JACE 賛助会員)
  - ・6月27日(火) 札幌産業流通振興協会評議委員会

#### ●「広告のミライ」プロジェクト

2019 年に日本広告業協会(JAAA)、全日本広告連盟、日本広告審査機構(JARO)および ACC の 4 団体が、広告業界の魅力を発信するプロジェクトとしてスタートした。

各団体からは人材の確保が難しくなっていること、広告業界への魅力が著しく低下していることなどが課題となっていることを鑑み、23の広告関係団体から賛同する団体を募り、新たに6団体を加えてリスタートした。新卒採用はもちろんのこと、中途採用を含めた人材確保のための施策を検討する。

#### 【参加団体】

日本広告業協会(JAAA)、全日本広告連盟、日本広告審査機構(JARO)、ACC、 日本アドバタイザーズ協会(JAA)、日本新聞協会、日本インタラクティブ広告協会(JIA)、 日本アド・コンテンツ制作協会(JAC)、日本民間放送連盟、 JACE

#### ●2024年賀詞交歓会招待

・1月5日(金): 一般社団法人日本電機工業会 @ANA ホテル東京

・1月5日(金): 広告界合同年賀会 @帝国ホテル

·1月9日(火): 一般社団法人日本雑誌広告協会

・1月11日(木): 一般社団法人日本展示会協会 @ベルサール東京日本橋ホール

・1月15日(月): イベント学会新年会 @シーボニアメンズクラブ

・1月18日(木): 東京ディスプレイ協同組合 @東京ドームホテル

・1月22日(月): 公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 @国際文化会館

・1月26日(金): 日本イベント協会 @Patia 市ヶ谷

#### ⑤ 名義申請等

#### ●後援名義

- ・「イベントランド北海道 2023」/5月 10日 (水) ~11日 (木) / アクセスサッポロ
- ・「2023 ワールドトライアスロンシリーズ・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」/5 月 13 日(土)~14 日(日)
- ・「第七回全国高校生花いけバトル香川大会」/8月19日(土)/ユープラザうたづハー モニーホール
- · 「BACK STAGE~SHOWCASE 3.0~」 /8 月 29 日 (火)
- · 「Japan MICE EXPO 2024」10 月 17 日 (木) ~18 日 (金) /インテックス大阪
- 「JAPAN MOBILITY SHOW 2023 サステナブルイベント協議会ブース」/10 月 25 日 (水)~11 月 5 日(日)
- ・「第 33 回国際 MICE エキスポ(IME2024)」/2024 年 2 月 15 日(木)/東京国際フォーラム
- ・「第 5 回 Sustainable Event Professional Forum 」/2024 年 2 月 21 日(水)/東京国際 フォーラム

#### ●協賛名義

- ・「第 26 回イベント学会 特別研究大会」/2024 年 2 月 23 日(金・祝)〜24 日(土):順 天堂大学
- ・「JAPAN SHOP 2024(第 53 回店舗総合見本市)」/2024 年 3 月 12 日(火)~3 月 15日(金)/東京ビッグサイト

#### 2-5-7 トピックス

① ISO20121「イベントの持続可能性マネジメントシステム」改訂作業

10年ぶりに改訂するイベント産業界初の国際標準規格「ISO20121」に関し、日本の国内審議委員会事務局を JACE で受託し、改訂作業を推進した。委員長以下のメンバーを決定し、委員会を招集。日本としての意見をまとめ、国際会議で発信を行った。セレスポより中島立氏が国内審議委員会担当として JACE に出向して事務局業務を推進した。2024年4月に発効し、現在対訳版を作成中。

② 「使い勝手の良い」 サステナビリティ・ガイドブック策定

2025年大阪・関西万博開催で実施する ESMS(イベント・サステナビリティ・マネジメント・システム)のレガシーとして、イベント・MICE 業界全体で活用可能な「使い勝手の良いガイドブック(仮称)」を制作する。博覧会協会、大阪観光局と JACE の三者が中心となり、日本コンベンション協会、日本展示会協会、日本ディスプレイ業団体連合会との6団体でコンソーシアムを組み推進。コンソーシアム内でワーキンググループを結成し、具体的なガイドブックを作成する。JACE サステナビリティ委員会において活用方法の検討等を行いつつ、2024年夏の完成を目指す。